

朗生寺たより

平成19年11月号



当山の庭の紅葉です

本年も残り40日あまりとなりました。

来年の準備を少しずつはじめて行きましょう。

神様たちは20日から26日まで出雲に集まり来年のことを決めていきます。来年のこと今のうちにお祈りしておきましょうね。でもまず感謝をしてからですよ。

当山も来月は星祭りです。来年がよき年でありますようにお祈り申し上げます。来年も豊かな心で行動しましょう。

◎＜信じ抜くこと＞

近頃、世の中において信じられないことがたくさん起こっていますね。食品、建物の偽装や政治では贈収賄など我々は今何を信じていれば良いのかわかりませんね。

嘘や偽りの生活ををしても天は見方はしてくれません。必ず明るみに出ますよ。信じるという言葉は嘘、偽りがないということです。だから信じられます

目に見えない、人が見てない、ばれなければ良いのではありません。自分が見てますよ。

神仏への信仰も目に見えませんが、皆さんの行動を神仏は見ています、ですから嘘のない信仰をしてください。さらに信じるだけではなく、さらに信じ抜いてみて下さい。



ちゃんと見てくれています。天は手をつないでくれますよ

※《おいあくま》

新潟の貫首さんが言っています

お…………おこらず
い…………いばらず
あ…………あせらず
く…………くさらず
ま…………まけず



去年の星祭り風景

現在は急ぎすぎです。
ゆったりした気持ちで過ごしてみましょう

☆福德守り



冬至は、太陽の光が弱まって動植物が衰弱し農耕生活に危機が訪れると感じられまた日照時間が再び延び、新しい太陽が輝き始める日と考えました。そしてこの日を陽気が回復し生命力が再生、復活する一陽来復という考えがあります。

当山の**福德守り**はこの考えから伝えられてきた日朗さま独自のお守りです。

＜正月事始め、すすはらい＞

正月事始め(しょうがつごとはじめ)とは正月を迎える準備を始める日。昔はこの日に門松やお雑煮を炊くための薪など、お正月に必要な木を山へ取りに行く習慣がありました。

江戸時代中期まで使われていた暦では、旧暦の12月13日の二十八宿は必ず「鬼」になっており、鬼の日は婚礼以外は全てのことに吉とされていきました。正月の年神様を迎えるのに良いとして、この日が選ばれました。現在の暦においても正月事始めは新暦の12月13日になっています。

この日を中心にすす払いが行われます。
すす払いは大掃除のことです。
一年の垢をとりましょう

忙しい年末になります
「大掃除なんておっくうだわ…」
と気が重くなりますよね？
でもちょっと待って！
年末のすす払いをする習慣には
大きな意味があるのですよ。。。



見えないエネルギーの流れを味方につけると、
来年幸せなスタートができるようになりますよ
皆さんの家庭でもやってみましょう

※お寺のすす払い(大掃除)

12月26日(水)

に行きたいと思います。
年末皆さんご多用でしょうがご協力
お願い申し上げます。
9時頃から4時くらいまでの間
できる時間帯が良いですのでお手伝い
お願い申し上げます。

12月、1月の行事

12月22日 開運星祭り

1月2日 初祈禱会

1月21日 日朗さま
祥月命日忌

☆いずれも午前11時です